

# 感性光る自由な発想

## 神戸ビエンナーレ 来月23日まで



神戸ハーバーランド会場で開かれているアートインコンテンツ国際展には子どもたちも楽しめる作品も展示されている  
—神戸市中央区で

2年に一度の総合芸術祭「神戸ビエンナーレ2011」が神戸市中央区の神戸港周辺4会場で開かれている。輸送用コンテナを展示空間にするメーン展示「アートインコンテンツ」(中央区東川崎町)を会場に、コンテナと同じ大きさの部屋(幅2・4メートル、高さ2・5メートル、奥行き12メートル)に入賞作品を展示。限られた空間の中でアーティストの自由な発想を表現した289点の応募が国内外からあり、25点が入賞した。

大賞は、工学院大の研究室などの「人工地形」。スポンジのような弾力がある白いカルボードという板を重ね合わせて地層を表現した。部屋全体を一つ

「国際展」は東日本大震災の影響でコンテナ不足となり、神戸ハーバーランドセンタービル(中央区東川崎町)を会場に、コンテナと同じ大きさの部屋(幅2・4メートル、高さ2・5メートル、奥行き12メートル)に入賞作品を展示。限られた空間の中でアーティストの自由な発想を表現した289点の応募が国内外からあり、25点が入賞した。

神戸ビエンナーレ組織委員会は「回を重ねるごとにレベルが高くなっていく。どの作品

の家具に見立て、「座った寝そべった自由」に過ごせるように」という思いを込めた。入賞作品には体験型のものもあり、大阪電気通信大の研究室などの「ゆかがみ」は赤外線レーザーを使って鑑賞者を検知する。床の上を歩くと足もとから光の紋様が浮かび上がる。紋様はやがて奥へと進み、鏡に映し出される光景は万華鏡のようだ。休日には家族連れが楽しむ姿も多くみられる。

JR神戸駅そばのハーバーランド会場には日本画や書道なども展示。東日本大震災被災地を4カ月撮影した韓

神戸ハーバーランドの会場では、東日本大震災の被災地を撮影した韓国人カメラマンの作品も展示されている。



国入カメラマン、イ・ビョンヨンさんの作品、神戸市の姉妹都市の中国・天津の工芸作品など国際色も豊かだ。

11月23日まで。神戸ハーバーランド会場と県立美術館(中央区脇浜海岸通)会場の入場料は大人1200円、大学生と65歳以上500円。JR神戸元町駅間の元町高架下、ポアイしおさい公園(中央区港島1)の2会場は無料。会場を結ぶ船やバスも出ている。神戸ビエンナーレ組織事務局(078・3222・6490)。